

「第 29 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

令和 2 年 6 月 2 日（火）21 時 45 分
都庁第一本庁舎 7 階特別会議室（庁議室）

【危機管理監】

それではただいまより第 29 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催いたします。

資料に従いまして私の方から説明いたします。資料 1 枚おめくりください。世界の感染の状況になります。世界では感染者数が 611 万を超える数が出ております。また、死亡者の数につきましては 37 万という数に達しております。国内の発生状況です。国内におきましては 1 万 6000、それから死亡者につきましては 892 名という数になっております。一番下が都の発生状況になります。5249 名の陽性者の方が出ている状況になります。

1 枚おめくりいただきまして、国の動きですが、特段大きな変化はありません。国の最後のところが、5 月 29 日、国の方で専門家会議が開催されております。都の動きになりますが、資料 1 枚おめくりいただきまして前回の会議が 5 月 29 日というところがございます。都の対応につきましては、資料 1 枚おめくりいただきまして、「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」の「ステップ 2」へ移行をしたところがございます。

それではモニタリング会議の指標等につきまして、A4 横の資料をご参照ください。これにつきまして福祉保健局長からご説明をお願いいたします。

【福祉保健局長】

それでは私の方からご説明いたします。

まず 1 枚目でございますが、全体の総括表でございます。七つの指標についてそれぞれ本日の最新データを掲げさせていただいております。中身につきましてはその次の表に基づきましてご説明したいと思います。

まず一つ目の新規陽性者数でございます。過去 7 日間の移動平均で本日 16.3 人、これは前日率+3.4 人でございます。緩和の目安である 20 人は下回っているものの、本日の陽性者数は 34 人出ております。30 人以上出たのは 5 月 14 日以来ということでございます。

次の②新規陽性者に係る接触歴等不明率でございます。これは本日、これも過去 7 日間の移動平均 50.0%、前日より 6.7 ポイント下がってございます。これは、本日 34 名の陽性者のうち 22 名が濃厚接触者ということでございます。そのうち 13 人が先週病院で発生いたしました、クラスター事案、また、5 人が夜の街関連の患者であることが確認されております。接触歴が判明した方が増えたことによりまして、50.0%となつてございます。なお、

不明者のうち、新宿エリアなど夜の街関連が一定数確認されており、引き続き状況を注視すべきと考えております。

次に③週単位の陽性者の増加比でございます。これは2.15、前日比プラス0.27ポイント上がっております。先週後半から1を超えて推移してきましたが、本日は5月30日以来、2を超える数字になっており、これは警戒すべき状況でございます。前週に比べて陽性患者の増加傾向が継続しているかどうかを試みるため、一定期間、1週間程度を想定しておりますが、その傾向を確認していく必要があると考えております。

続きまして④重症患者数でございます。これは本日時点で26人、前日より、3人減っております。全体としても減少傾向で推移しております。現在病床数に対しましても十分低い数字でございます。重症患者様への医療提供体制が十分確保できているという状況でございます。

次に⑤入院患者数でございますが、これも、今日現在312人で、前日より17人減でございます。直近2週間につきましても減少傾向でございます。これも、レベル1の病床1000床確保に対しましても十分低い水準であり、医療提供体制は確保されているというふうに考えております。

それから⑥陽性率でございます。これは1日時点の速報値でございますが、2.1%でございます。前日の0.2%増となっております。先週後半から若干陽性率が上昇傾向でございます。ただ、2.1という数字、水準自体は極めて低い水準という認識をしております。検査体制は十分確保されている状況でございます。

それから最後7番目でございます。相談件数でございますが、1日時点の速報値で938件、16件の増となっております。減少傾向が続いた後ですね、直近では微増しておりますが、全体的な傾向として大きな増加の兆候は見られてないと、こういった状況でございます。以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございます。以上の各指標の評価を受けまして、全体評価並びにアラート発動に関する評価につきまして、総務局長からお願いいたします。

【総務局長】

はい。個別の資料についてはただいま福祉保健局長からご説明があった通りでございますが、私の方から総括をしたいと思います。

新規陽性者数についてはご覧の通り、このところ増加傾向を示していたところ、本日の陽性報告者数は34名となりました。7日間移動平均では16.3でございます。緩和基準である20人を下回ってはいるものの、30人以上となったのは5月14日以来となしまして、病院の集団感染13人が含まれるとはいえ警戒すべき数値の状況にあると考えております。週単位の陽性者増加比はこのところ1を超えて2に近い水準で推移しており、本日1日だけを

見れば2を超えている状況にあります。

また、陽性者の状況を見ると、集団感染が見られるほか、いわゆる夜の街関連の陽性者が多く、今後、夜の街への外出を都民の方に控えていただくことなどについて呼びかける必要があるというふうに考えております。なお、医療提供体制等については現在のところ十分な状況でございます。

こうしたモニタリング指標の状況につきまして、東京都新型コロナウイルス感染症対策審議会の委員の先生方からご意見を伺ったところ、先生方からは、医療提供体制は確保できているものの、直近の感染状況の推移に鑑みると、感染拡大を警戒すべき状況にあるとのご意見を頂戴したところでございます。

足元の感染者の増加状況や審議会のご意見等を踏まえ、都民、事業者に感染拡大への警戒を呼びかける観点から、「東京アラート」を発動することといたしたいと思っております。説明は以上です。

【危機管理監】

ありがとうございました。このほかこの場にお集まりの皆様で、何かご発言のある方いらっしゃいますか。よろしいですか。それでは、本部長からお願いいたします。

【都知事】

はい。今日は、まず代表質問は大変お疲れ様でございました。ご苦労さまでした。

ただいま報告ありました通り、今日の新規陽性者数であります、34人です。

このところは増加傾向にありましたけれども、30人を上回るのは、5月14日以来であります。病院の集団感染が先ほど13人と数字が挙がりましたが、その影響があるとはいえ、警戒すべき数字であると考えます。また、週単位の陽性者増加比も高い水準で推移をしているところであります。このうち一定の割合の方が、いわゆる夜の街関連と見られておまして、その約半数が、新宿エリアにおける飲食、接客業関係者が占めているとの報告を受けております。

こうした状況を受けまして、東京都新型コロナウイルス感染症対策審議会の委員の先生方のご意見も踏まえまして、今日、「東京アラート」を発動いたします。

「東京アラート」でございますが、都内の感染状況を都民の皆様方に的確にお知らせをする、そして警戒を呼びかけるものであります。

なお、レインボーブリッジ及び庁舎のライトアップにつきましてはこの後、午後11時に、レインボーから赤色に変更をする予定となっております。都民の皆様方にはですね、特に夜の繁華街など、3密のリスクの高い場所にはですね、十分ご注意くださいと存じます。それからまた、基本になりますけれども、手洗いの徹底、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、「3つの密」を立てた行動など、「新しい日常」を徹底して実践をしていただきたいと存じます。

事業者の皆様方には、都や業界団体が作成するガイドライン、これを踏まえて適切な感染症拡大の防止対策を進めていただいているかと存じますけれども、さらなる徹底、ここで改めてお願いを申し上げます。

また、出勤に当たりましてはですね、引き続きテレワーク、時差通勤の活用をお願いいたします。

昨日から、「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」における「ステップ2」に移行いたしておりますが、引き続き必要な警戒をしながら、感染拡大防止と経済社会活動との両立を図っていきたいと考えます。

それぞれ、各局におきましては、「東京アラート」の発動を踏まえまして、都民が利用される施設の再開、イベントの実施に当たりましては、徹底した感染拡大防止対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

【危機管理監】

ありがとうございました。

以上をもちまして第29回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。